

事 故 防 止 6 5 号
2 0 2 1 年 7 月 1 5 日

各 都 道 府 県 知 事
各 保 健 所 設 置 市 長 殿
各 特 別 区 長

公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故情報収集等事業
執行理事 後 信
(公印省略)

医療事故情報収集等事業 「医療安全情報 No. 1 7 6」の提供について

平素より当事業部の実施する事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、医療事故情報収集等事業において収集した情報のうち、特に周知すべき情報を取りまとめ、7月15日に「医療安全情報 No. 1 7 6」を当事業参加登録医療機関並びに当事業参加登録医療機関以外で希望する病院に提供いたしましたのでお知らせいたします。

なお、この医療安全情報を含め報告書、年報は、当事業のホームページ (<https://www.med-safe.jp/>) にも掲載いたしておりますので、貴管下医療機関等に周知いただきご活用いただければ大変幸いに存じます。

今後とも有用な情報提供となるよう医療安全情報の内容の充実に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

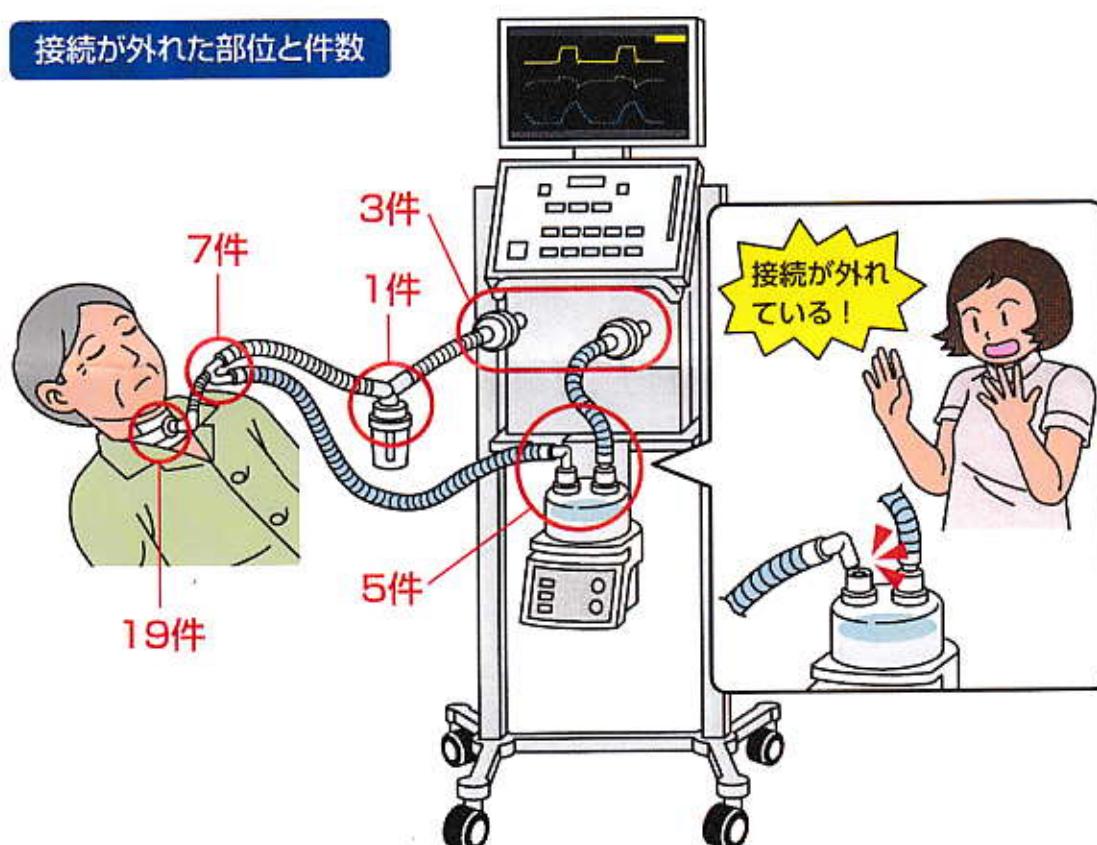
人工呼吸器の回路の 接続外れ

No.176 2021年7月

人工呼吸器を使用中、回路の接続が外れていた、または緩んでいたため患者に影響があった事例が39件報告されています(集計期間:2017年1月1日~2021年5月31日)。この情報は、[第64回報告書「再発・類似事例の分析」](#)で取り上げた内容をもとに作成しました。

人工呼吸器の回路の接続が外れ、患者に影響があった事例が報告されています。

接続が外れた部位と件数



◆接続が外れた、または緩んだ部位が不明の事例が4件あります。

人工呼吸器の回路の接続外れ

事例 1

看護師は、勤務開始時に人工呼吸器の回路の接続部に緩みがないかを手で触れて確認することになっていたが、ナースコールの対応に追われ目視のみで確認した。その後、患者のSpO₂低下のアラームが鳴ったため看護師が訪室したところ、患者は顔面蒼白で、SpO₂は50%台であり、気管切開チューブと回路の接続が外れていた。

事例 2

患者のSpO₂が80%台後半まで低下し、分時換気量低下のアラームが鳴っていたため、看護師は気管吸引を実施した。SpO₂が上昇しないため、リーダー看護師が回路を確認したところ、回路と加温加湿器の接続が外れていた。

事例が発生した医療機関の取り組み

・人工呼吸器の「分時換気量低下」「低換気」「下限圧」のアラームが鳴った時は、患者の胸郭の動きと回路の接続部を確認する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業（厚生労働省補助事業）において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。

本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。 <https://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<https://www.med-safe.jp/>